

倫理講義 10 イギリスの功利主義・実証主義と進化論

得点源

1 **功利主義**…善悪の基準を、快樂や幸福を生み出すのに役立つかどうかを求める思想。

→ **ベンサム** に始まり、19世紀イギリスで大発展した。

快樂と苦痛の人間観…ベンサムは、「自然は人類を快樂と苦痛という二人の君主のもとにおいた」と表現した。これは人間は生れながら快樂と苦痛の支配を受けているという考え。

幸福は積極的に快樂の追求を、消極的には苦痛の回避を意味する。

ただし、「**最大多数の最大幸福**」が大前提で、社会全体の幸福を増大させることが個人の幸福を増大させると説いた。

得点源 ベンサムの量的功利主義と比較して、ミルの質的功利主義を理解しよう！

ベンサムは、快樂の量が増加すれば社会全体の幸福も増大すると考えた。

↓
量的功利主義

ミルは、**快樂の量ではなく、快樂の質**に注目した。

↓
質的功利主義

↓
キリスト教の黄金律を功利主義道徳の理想とした。

↓
相手が望むことを何でもその通りにしてあげなさい。

ミルは「**満足した豚**」であるよりは、不満足な人間である方がよい。満足した愚か者であるよりは、**不満足なソクラテス**である方がよい」と表現した。言い得て妙！

本試 ベンサムの思想

功利主義者ベンサムは行為の判断基準として行為の結果を重んじた。その考え方の発言として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ①「私は、どんな状況下でも嘘をつくべきではないと考えているので、自分に不利益が及ぶとしても、正直に話をすることにしている。
- ②「私の行動原則は、その時々自分の快樂の量を最大にすることだから、将来を考えて今を我慢するようなことはしないことにしている。
- ③「社会の幸福の総和が増大するとしても、不平等が拡大するのはよくないから、まずは個人間の平等を実現すべきだと、私は考える。」
- ④「自分の行動が正しいかどうか不安を感じる時、私は、その行動をとることによって人々の快樂の量が増えるかどうかを考える。」

正解→④

ミルが個性の発展を擁護した理由についての記述として最も適当なものを、次の①～④の

うちから一つ選べ。

- ① 個性の自由な発展は、自我の安定のために有益であり、それを社会が認めないと、無意識の欲望が抑圧されて、自我の不安を感じる人が多くなってしまふ。
- ② 個性の自由な発展は、個人の幸福にとって不可欠だけでなく、社会全体が進歩していくためにも有益であり、他人に危害を与えない限り、それを制限してはならない。
- ③ 個性の自由な発展は、人間が生まれながらにして持っている自然権の一つであり、それを社会が抑圧しようとするのは、いかなる理由をもってしても絶対に許されない。
- ④ 個性の自由な発展は、人間が神から与えられた才能を開花させることであり、それを抑圧しようとするのは、神を信じることのできない人間の傲慢に基づいている。

正解→②

①自我・無意識とくればフロイトだろう。③自然権とくればルソーと条件反射。④キリスト教の考え方。

2018 本試 倫理・政経 功利主義の思想家

個人と社会とのあるべき関係を追求した社会思想に功利主義がある。この功利主義を唱えた思想家の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ベンサムは、快を幸福とし苦痛を不幸としたうえで、その快苦を数量化し、社会全体の幸福の最大化を目指そうとしたが、最終的には快樂計算は不可能であると考えた。
- ② ベンサムによれば、個々人は利己的に振る舞いがちであり、利己的振る舞いを社会全体の幸福に一致させるためには、政治的制裁などの外的強制力が必要である。
- ③ ミルは、快に質的差異があることを認めたが、人間には感性的な快を求める傾向があるので、万人に等しく分配されている良識によって自らを律することが大切であると考えた。
- ④ ミルによれば、人間は精神的に成長するものであり、自らの良心の呼び声によって、頹落した世人から本来的な自己に立ち返り、利他的に振る舞うようになる。

正解→③

倫理講義 11 実証主義と進化論思想

コント・スเปนサー・ダーウィン

得点源 **実証主義の意味を理解しよう！**

・ **実証主義**…19世紀中ごろに現れた、**形而上学的なもの**を排除し、**実証的なものを真理とする立場**のこと。

つまり、形而上学的とは、神・自由・正義などの抽象的な概念のこと。これに対して実証的なものとは、経験的事実に基づいて五感で確かめられるもので、検証可能なもの。

得点源 **コントは実証主義の祖、三段階を理解しよう！**

コントは、人類の精神（知識）は、三つの段階を経て発展すると主張。

Pain is inevitable Suffering is optional

①神学的段階→ 形而上学的段階→ 実証的段階

性思想の考え方。正解→①

自然崇拜→多神教→一神教 抽象的な言葉を操る段階→検証可能なものを問題にする段階

得点源 スпенサーは、社会有機体説と社会進化論を理解しよう！

1 **社会有機体説** …社会や国家を生物的有機体（全体）として捉え、人間をその細胞（部分）に見立てる立場（社会は個人の集合ではなく、個人を超越する実在と考える）。

2 **社会進化論** …生物が成長するように、有機体としての社会も成長・進化していくという考え方。

得点源 ダーウィンは、進化論、自然淘汰＝適者生存を理解しよう！

1 **進化論** …生物は環境に適応しながら、単純な生物から高等で複雑な生物へと進化するという考え。

2 **自然淘汰** …自然界では激しい生存競争が行われており、環境に適応した種が生き残り、適応できない種は滅んでいくという考え。

センター過去問演習

2015 本試 倫理・政経 コントの思想

社会学の創設者コントの思想の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人間の知性は、環境に適応するための道具である。この創造的知性によって人間性を改善し、理想的な民主主義社会を作り上げねばならない。
- ② 人間においては、実存が本質に先立ち、あらかじめ決まった本性はない。このように自由な人間は、積極的に社会参加しなければならない。
- ③ 自由を本質とする精神は、まず個人の主観的精神として現れ、次に社会関係としての客観的精神となり、最後に両者を統一する絶対精神となる。
- ④ 人間の知識の発展は、神学的段階、形而上学的段階、実証的段階の三つに分けられ、その三段階は社会の進歩の三段階に対応している。

正解→②はサルトル。③はヘーゲル。④が正解・

2010 本試—倫理 ダーウィンの進化論

実証主義と同じく人間や社会の捉え方に影響を与えた新たな理論の一つにダーウィンの進化論がある。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人間を含めた生物は、突然変異と自然選択に基づいて、環境に適応することにより、系統的に分化して、多様なものとなっていく。
- ② 人間を含めた生物は、部分としての器官からなる全体的な有機体であるが、社会も部分としての個体からなる有機的な集合体である。
- ③ 人間を含めた生物は、想像を絶するほど多様であるため、偶然の諸連鎖ではなく突然の創造によって誕生したと考えざるを得ない。
- ④ 人間を含めた生物は、遺伝的に優れた形質をもつ子孫を保護し、劣るとされる形質をもつ子孫を排除すべく管理されるべきである。

正解→②有機体はスペンサーの社会有機体の説明。③突然の創造って何だ。④これは優

2019 本試 倫理・政経 自然選択・適者生存

自然選択（自然淘汰）・適者生存を論じた思想の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ダーウィンによれば、あらゆる生物は共通の祖先から枝分かれしながら進化してきたのであり、自然選択（自然淘汰）によって環境によりよく適応した種が生き残っていく。
- ② ダーウィンによれば、あらゆる生物の種はそれぞれ固有の祖先から変化することではなく、自然選択（自然淘汰）によって環境によりよく適応した種が生き残っていく。
- ③ スペンサーによれば、人間社会もまた自然選択（自然淘汰）の法則に従っており、適者生存のメカニズムを通じて軍事的指導者が支配する社会へと進化していく。
- ④ スペンサーによれば、人間社会もまた自然選択（自然淘汰）の法則に従っており、適者生存のメカニズムを国家が人為的に統制することで社会は進化していく。

正解→①